

シンポジウム ゲノム編集を問う

作物、家畜、人について

ゲノム編集技術は作物、畜産、ひいては人間の受精卵の DNA を編集する遺伝子操作までできています。CRISPR/Cas に代表されるゲノム編集技術は、従来の遺伝子組換え技術に比して圧倒的に高効率な遺伝子改変を可能とし、科学、産業、医療などへの広範なインパクトをもたらすと注目を集めている一方で、いわゆる“痕跡残らぬ”遺伝子改変をもたらし、現行の遺伝子組換え生物の規制上に不明瞭な境界領域を生み、問題となりつつあります。遺伝子工学におけるゲノム編集技術の位置づけを分析し、海外における規制対応状況を俯瞰したうえで、今後の農業、産業、医療などへの応用における潜在的な問題を考察する必要があります。また、ゲノム編集技術の到来を研究上の観点から好意的に捉えることにとどまらず、社会の理解を得つつ、社会に貢献できる研究開発のあり方についても議論する必要があります。

石井哲也さん（北海道大安全衛生本部教授）、島菌 進さん（上智大学大学院実践宗教学研究科教授）にゲノム編集技術についてお話しただいて、社会的問題点、人権問題、生物多様性、多角的に参加者のみなさんで考える場としたいと思います。

とき：2017年8月31日（木）13：30～16：30

開場 13：00

ところ：東京ウイメンズプラザ視聴覚室

アクセス JR：東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ副都心線

渋谷駅 宮益坂口から徒歩12分

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線

表参道駅 B2出口から徒歩7分

資料代・1000円

<プログラム>

1部：作物、家畜、人のゲノム編集について 「石井哲也さん」

北海道大学安全衛生本部教授

13：30～14：30

ゲノム編集技術の人間への応用をどこで止められるのか？ 「島菌 進さん」

上智大学大学院実践宗教学研究科教授

14：30～15：00

質疑応答 15：10～15：30

2部：鼎談 15：40～16：30

石井哲也さん（北海道大安全衛生本部教授）

島菌 進さん（上智大学大学院実践宗教学研究科教授）

天笠啓祐さん（市民バイオテクノロジー情報室代表）

主催 ゲノム問題検討会議

協賛 DNA問題研究会

問い合わせ 連絡先 神野玲子 E-mail jreikochan@yahoo.co.jp

携帯番号 090-2669-0413